10.5.20 大朝

殘餘金や米の處分

加々美課長の待命報告

職工の態度は兩支部で決議

十時閉會後引續き茶話會を開いた話題は殘餘の處分方法で一部は今後の同盟罷工の基金に割き他の一部を事業縮少より起る減員者へ配當し他の殘りを友愛會企業の勞働會館へ寄附することが單獨で來て西尾主事に別項掲記の大電の待命通知書を告知し同氏より之を一同に報告するこの論も出たが大多數は這度だけ取消しの如きは消滅してゐる然るに今更之を云爲するは會社の覺書を交換した時既に手當支給見よ現代六月號に掲載尚同誌は大家の名說其他趣味讀物滿載！

新橋俠妓の美談

10.5.20 大朝

解雇通知を取消す

大電課長會議の結果

冗員は二十一日迄に淘汰

なり復職工と新規復職者との感情疎隔を融和する策として復職者より醵資者救濟の意で醵金させやうと方針を決し尚ほ自來は險惡者へ慰勞として分配するに決したが此時加々美特高課長が復職工の代表者として一部の無い限り自由意志に任せる方針である

大電爭議も既に解決を見たが職工復歸問題に就て雙方意志の疏通から又復波瀾を起しさうな形勢であつたが大電では十八日午後三時から課長會議を開いて協議を重ねた結果去る九日職工全部に交附した解雇並に退職手當の通知書は一旦取消す事とし十九日から出勤する事となつて居た職工に對しては二十一日迄出社を見合せ其間に夫々冗員淘汰の銓衡をなす事となつた

職工側が對抗策を

十九日朝九時事務所で協議

右に就き春日出發電所の職工は若し廿一日迄出勤を見合してゐる內に若しも己れが冗員淘汰の口に入つて仕舞ふやうな事があつては再び生活不安に陷る事となり折角落ついた問題も無意氣事となるので十九日午前九時から同發電所內の事務所に會合の上會社に對し對抗策を講ずる事となつた或はその結果によつては又復紛糾を來すやうな事になるとも限らない模樣である

報告演說

平穩裡に閉會

既報の如く大電問題報告演說會は十八日午後六時五十分から天王寺公會堂に於て春日出發電所の小西友七君司會の下に開いた集まつた聽衆約一千名は殆んど勞働者で安治川發電所の山本善一君開會の辭を述べ東京からは工夫勞働同盟の阪口榮治君立ちて應援演說を試み各辯士共

激越な

口調で熱心に經過報告やら感想或は希望などを述べたが當夜は警官の立會も僅かに正服三四名で中止を喰ふやうな事もなく最後に友愛會の東君の演說があつて至つて平穩裡に同九時四十分閉會した電業組合では引續き同所で茶話會を催した